

組合だより

もり
森林

●発行/令和元年10月25日64号 ●発行責任者/佐伯広域森林組合 〒879-3302 佐伯市宇目大字南田原283-2 TEL 0972-54-3326

2019
Vol.64



佐伯広域森林組合

第30回 通常総代会開催

第30回通常総代会を令和元年9月18日、三余館大ホールにおいて総代総数200名のうち（本人出席103名・議決権行使62名・委任出席2名）合計167名の出席のもと開催いたしました。弥生地区の小野三喜氏が議長に選任され、上程した全ての議案は原案どおり承認可決されました。



◆ 提出議案

【第1号議案】

平成30年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案について

【第2号議案】

令和元年度事業計画の設定について

【第3号議案】

令和元年度一組合員に対する貸付最高限度額について

【第4号議案】

借入金最高限度決定について

【第5号議案】

余裕金預け入れ先決定について

【第6号議案】

令和元年度役員報酬決定について



平成30年度素材共販事業に多大な協力をいただいた方へ感謝状贈呈

○素材出荷の部

(株)孝賢索道
代表取締役 佐保 六三四 様

(株)戸高興産
代表取締役 戸高 明仁 様

甲斐林業 甲斐 孝義 様

○素材買方の部

松本木材(株)
代表取締役 松本 新一郎 様

中国木材(株)
代表取締役社長 堀川 智子 様

瀬崎林業(株)
代表取締役社長 瀬崎 民治 様



来賓出席者

機関名	役職	出席者
佐伯市	市長	田中 利明
大分県南部振興局	局長	浦辺 裕二
農林中央金庫 福岡支店	九州営業第二部長	斎藤 隆
大分県森林組合連合会	代表理事専務	石井 利郎
日本政策金融公庫 大分支店	農林水産事業事業統括	川口 英明
大分県南部振興局	農山漁村振興部長	大屋 寛
大分水源林整備事務所	所長	森 秀紀
公益財団法人森林ネットおおいた	森林整備部長	首藤 弘一



第30回 通常総代会あいさつ



代表理事組合長
戸高 壽生

本日は、令和元年度第

30回の記念すべき通常総代会が、大変ご多忙の中、田中佐伯市長様はじめ関係機関より多くのご来賓のご臨席を賜り盛大に開催できますことに対し衷心より感謝申し上げます。令和の新たな時代が始まりましたが、相変わらず自然災害が頻発する中であつて、一方では国際情勢もまた、米中の貿易摩擦をはじめ、英国のEU離脱・米対イラク・北朝鮮・日韓関係など実に様々な多くの課題が点在しており、世界経済が大混乱に陥りかねないような波乱含みの事案もある

中、国内においても消費税増税後、あるいはオリンピック・パラリンピック終了後、さらに令和最大の課題である少子高齢化による生産年齢人口の激減など、日本経済の行く先の大きな影となつております。

嘗て、世界恐慌を巻き起こしたリーマンショック、引き続き急激な円高さらにEU諸国の金融危機によるユーロの大暴落、これら世界経済の動向が我が、私ども森林組合に与える影響が如何に大きいかをまざまざと思ひ知らされた時期がありました。当組合にとつて、工場創設直後の最も大事な時期のこの苦い経験を糧として、国内外情勢の動向に傾注しながら、攻めの姿勢で組合経営に邁進してまいりたいと思ひます。さて、間伐ありきの林

業施策「森林・林業再生プラン」に逆行する形になりましたが、当佐伯地域の本来あるべき林業の姿として取り組んできた「佐伯型循環林業」もすでに八年を経過し、まだまだ課題は残すものの、これまで関係機関の皆様のご理解とご支援、組合員の皆様のご協力により、組合全事業の柱として、これを推進し確立してまいりました。

平成30年度は、前半は台風による作業路損壊や長雨、さらに森林経営計画の必須事業である間伐に偏つたために、林産事業に支障をきたした結果、丸太不足が生じ、他地域よりコストの高い丸太を仕入れざるを得なくなり、業績を落としましたが、検証した結果『佐伯型循環林業』の基本骨子である「皆伐・加工販売・再造林」の三本の柱の内の一本に支障をきたしたため、全体に悪影響を及ぼしたということであり、修正して後半に臨んだ結果、当初計画には達しな

かつたものの、当期末剰余金二千六百万円余りの実績を残すことができた。この前半の失敗は、裏返すと『佐伯型循環林業』が定着した証であり、この失敗を今後の糧としてまいりたいと思ひます。また、この『佐伯型循環林業』の取り組みはモデル的事例として注目を集め、昨年は内閣府の未来投資会議に、今年一月には林野庁より招致を受け、政策諮問委員あるいは省庁の方々に説明し意見交換の機会を得ました。さらに、他県や他団体からも講演依頼や視察受け入れなどの機会が多い昨今であります。私どもの目指す『循環型林業』の取り組みが広く波及し、全国ネットで森林資源と公益的機能の両面から保証が可能な森林づくりが推進されるならば当組合にとつても本望であります。

林業政策面では、森林組合系統にとつて長年の悲願でありました「森林環境税・環境譲与税」及び「森林経営管理制度」がいよいよ四月から施行されました。いづれも市町村が実施団体となりますが、所有者による森林管理が困難となつてきた今日、森林資源の循環と森林の持つ公益的機能の保続により豊かな森を後世に繋げるためにはまさに時を得た制度であり、うまく活用できるかが課題となります。活用如何では大きな効果が期待できます。市に全面協力しながら最大限の効果が得られるよう努力してまいります。

当組合理念の中に「英知を結集して果敢に挑戦をする情熱をもちつづける森林組合を目指す」という一節を掲げておりますが、佐伯の林業のますますの発展を期してさらなる精進を重ねる所存であります。

今後、さらなるご指導、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のお力をお借りし、皆様のますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。あいさつといたします。



◆ 総括事項

佐伯市においても、昨年9月の台風18号による集中豪雨被害に続き、昨年も長雨・豪雨により林産事業が停滞し、素材部門は出荷量が激減する等事業収入に多大な影響を受けました。

製材部門では、建築材の需要が、本年10月消費税の引上げに伴う駆け込み需要への期待もむなく盛り上がり、新設住宅着工数が前年比0.7%増の95・3万戸となりましたが、製品価格は引上げには至らない一方、天候不順、集中豪雨等により原木調達コストは増加、輸送費の高騰等販売製造コストの上昇ともあいまって厳しい状況となる中、販売量は前年比99%の(金額・前年比99%の19億91百万円)46,359㎡に留まりました。森林整備部門は、大雨・集中豪雨により林道・作業道等が甚大な被害を受ける中、大部分を自力による

復旧を行い、県・市の森林整備予算拡充の恩恵もあり堅調な実績を上げることが出来ました。

以上のような環境の下、本年度は上期実績の低迷を下期の盛り返しでカバーするに及ばず、組合全体では通期の経常利益23,886千円(前年比36%)の結果となりました。税引き後当期利益26,679千円に前期繰越金16,572千円を加えた当期未処分剰余金43,251千円(前年比52%)に關しましては、事業割配当を継続実施することと、また、造林補助金の不足を考慮し森林造成費8,000千円と、異常気象による災害復旧・枯損被害等に対しても何らかの独自財源を森林整備部門に確保する方策を、令和元年度も引き続き実施してまいります。

◆ 指導部門

平成30年11月30日に職員及び作業班員を対象に労働安全衛生大会を開催し、労働安全への啓発、健康増進のための講演と、作業班員の永年功績に対し、

感謝表彰を行いました。全国的に森林組合系統による不祥事が多発していることから、平成30年12月11日に一般職員を対象にコンプライアンス研修を実施法令遵守の徹底を図りました。

森林ボランティア事業については、平成30年11月10日に佐伯市宇目南田原で杉苗を作るための穂取り作業を行いました。平成31年2月16日に佐伯市宇目小野市で桜苗を植栽し、同月23日には企業参画の森づくり事業で佐伯市大字青山にモミ、ジ苗の植栽等を行い、平成30年度は計3回開催しました。

深刻化している人材不足の解消のため、企業説明会等のイベントに積極的に参加しました。環境省が定めた『エコアクション21』の認証・登録書を取得しました。

◆ 販売部門

当年度上期は長雨や台風の影響等により両共販所への入荷量が激減しました。特に宇目共販所は上期の入荷減により通期での取

扱量が122,461㎡(対前年93%)平均単価11,113円となりました。

佐伯共販所は前年度を上回る入荷により46,220㎡(対前年106%)平均単価11,024円となりました。

◆ 加工部門

製材品の需要は消費税増税による需要増を期待した年でしたが製材品の需要は盛り上がりに欠けました。宇目工場では原木消費量106,792㎡(対前年99%)製材品販売量46,359㎡(対前年98%)となりました。

また、地域材パネル事業は大分県内において7棟上棟しました。バイオマスチップ事業については堅調な需要の中で32,496t(対前年105%)出荷しました。

◆ 森林整備部門

全国的には九州を主に主伐が進み再造林放棄地問題が発生している中、当組合では、一般造林306ha、機関造林17ha、合計323ha、及び所有者の自力29haを

合わせて管内全体352haの再造林を行いました。南部地域苗木生産協議会と協力し、9万本のコンテナ苗を生産し、露地苗と合計し73万本を取扱いました。

大分県企業局による支援を受け北川ダム上流域の森林再生に取組みました。

大分県再生機構・株夕マホームの助成金を受給し佐伯市管内の再造林に取組みました。

◆ 森林整備センター部門

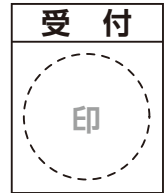
組合の直営班が行った事業です。山林作業の新規受け入れ部門として今年度は大分県アカデミー卒業生を2名採用し、現在、伐採班6名、造林班8名の合計14名となっております。

◆ 森林経営部門

今年度より取り組んだ新規事業で、森林組合が山林の土地を取得し森林経営を行う事業です。森林の取得に関する基本的な方針を定め健全な山林育成に取組みます。今年度は19・88haの山林を取得しました。



造林予定及苗木申込書



〈補助対象条件〉

1. 樹種 … スギ、ヒノキ、クヌギ、その他(国の定める広葉樹)
2. 面積及び条件 … 1反歩(0.10ha)以上、植栽本数、1,000本/ha以上

【造林予定申込】

事業箇所			面積	ネット配置	苗木入手別	実施方法 何れかに○	森林保険加入
大字	字	地番					
				する・しない	購入・自家	組合委託 ・ 本人実施	する・しない
				する・しない	購入・自家	組合委託 ・ 本人実施	する・しない

【苗木申込】

樹種	数量	参考価格※	樹種	数量	参考価格※
スギ 1年生並		84	イチヨウ		108～
スギ 1年生大		86	ヤマサクラ		111～
スギ 2年生		90	ヤマモミジ		111～
スギコンテナ苗		150	スギ品種指定・その他広葉樹の場合は記入してください		
ヒノキ 2年生		81			
クヌギ 1年生		79			

※価格につきましては毎年変動がありますのであくまで参考となります。

令和元年 月 日

お申込み期限の目安は
12月末となっております。
1月以降はご注文をお受け
出来ない場合がございます
のでご了承下さい。

※必ず下記〈造林申込の注意事項〉を確認し、記入してください※

住所

申請者氏名

印

電話番号

【造林申込の注意事項】

1. 字、地番は良く調査の上、記入してください。
2. **作業前と作業完了の写真**が必要となりますので、各自で撮影し組合に提出して下さい。
写真がない場合は補助金申請ができません。ご自身での撮影が困難な方は作業開始の**10日以上前**にご連絡下さい。また作業完了時は速やかにご連絡下さい。
3. 購入の証明が出来ない苗木は補助金が受けられません。
4. 森林保険の加入は自己負担となりますのでご注意下さい。
5. 森林経営計画を樹立していない方は補助申請できない場合があります。

【苗木購入の注意事項】

1. 注文については、**1束(25本)単位**でお願いします。
2. 苗木価格につきましては、需給調整会議後(11月下旬頃)に決まります。

おしらせ

消防訓練 の実施

7月31日、宇目工場敷地内で職員を対象として、佐伯市消防本部職員指導の下、消防訓練を実施しました。火災発生！のもしもに備え気温30度を超える暑い中、消火器の取扱いや消火栓ホースの放水訓練など、真剣に取り組みました。



第4回

佐伯広域森林組合大会開催

令和元年9月27日、三余館大ホールにおいて第4回佐伯広域森林組合大会が開催されました。

開会後に理念を全員で唱和し、平成30年度事業実績の報告、令和元年度事業計画の説明など行いました。

労働安全研修では、佐伯労働基準監督署・安藤氏による『林業の法改正と健康管理』についてご講演いただきました。

また、今回も5S活動各チームの工夫を凝らした発表により、会場は笑いに包まれ、最後に今回初めての取り組みである業務改善に功績のあった提案に対して表彰を行い、大会を終了しました。



平成30年度剰余金処分案

単位：円

科 目	内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金		43,251,010	43,251,010
II 剰余金処分額			
1. 法定準備金	当期剰余金の1/5以上	10,000,000	
2. 事業割配当金	素材売上高の0.5/100	5,327,617	
	立木買取高の0.7/100	1,164,129	
3. 任意積立金		15,000,000	
			31,491,746
III 次期繰越剰余金			11,759,264

脚注：次期繰越剰余金のうち教育情報資金は1,350,000円である。



平成30年度損益計算書

(平成30年7月1日～令和元年6月30日)

単位：円

科 目	小 計	合 計
I. 事業総損益		
1. 事業総収益	4,350,676,406	
2. 事業総費用	4,075,654,716	
事業総利益		275,021,690
II. 事業管理費		
1. 人件費	201,793,460	
2. 旅費交通費	6,456,735	
3. 事務費	10,273,900	
4. 業務費	5,273,831	
5. 諸税負担金	3,568,137	
6. 施設費	22,019,253	
7. 雑費	3,863,058	
事業管理費計		253,248,374
事業利益		21,773,316
III. 経常損益		
1. 事業外収益	29,079,695	
2. 事業外費用	26,966,629	
事業外損益		2,113,066
経常利益		23,886,382
IV. 特別損益		
1. 特別利益	105,618,395	
2. 特別損失	102,289,000	
特別損益		3,329,395
税引前当期純利益		27,215,777
法人税及住民税額		536,500
当期剰余金		26,679,277
前期繰越剰余金		16,571,733
当期末処分剰余金		43,251,010



世界中で頻発している異常気象、脱プラスチックへの動きはじめ、地球温暖化防止に向けた新たな国際的枠組である「パリ協定」の批准による『脱炭素社会』への移行や国連サミットにおいて、SDGs（持続可能な開発目標）が採択され、世界的な環境保全の潮流に森林は多大な貢献をしております。国は、林業の成長産業化と森林の適切な経営管理を実現するため平成31年4月に森林経営管理法に基づく『森林経営管理制度』を創設、全国の市町村に森林環境譲与税が導入され、佐伯市に本年度より6000万円が交付されることから実効性のある活用が課題となっております。

林野庁は、本格的な利用期を迎えているわが国の人工林を「伐って、使って、植える」という循環利用を推進しており、『佐伯型循環林業』の取

組みは令和元年度版森林・林業白書に掲載されました。このことから佐伯管内の森林は、全国に先駆け未来へつなぐ成功事例として高い評価を受けました。当組合では、宇目工場を12万㎡規模の大型工場にリニューアルし10年が経過、循環の環が確立しつつありますが、循環の原動力である工場の設備が更新期を迎えており、ボイラー等の設備更新が喫緊課題であり、この環が継続し順調に循環するよう取組み、管内の森林を将来にわたり守り育てる役割を担えるよう努力してまいります。

また、九州内では、超大型製材工場がさらに第2工場を稼働させ、原木調達にかかる競争が激化することが想定されます。素材生産・流通体制の見直しと改善を図り、当組合の強みである所有者の皆様との立木を良い単価で買取り製材工場の原材料として安定供給する体制を堅持し、さらに未利用材もバイオマスチップ原

料として購入し、代金を再造林費用の一部に充当する当組合の独自のスキームを佐伯の森林を将来にわたり守り育てる『再造林システム』として、強化を図ってまいります。

再造林事業においては、公共事業費の不足から安定財源の確保が課題になっており、今後も国・県への要望活動を行ってまいります。また、人口減少・高齢化が著しく進む中、組合員の所在不明後継者不足がより顕在化してまいりました。今年度創設された新たな森林経営管理制度と森林環境譲与税の実効性のある活用を佐伯市に働きかけてまいります。

今年度終了時点で当組合は広域合併30周年を迎えます。組合員の皆様のご支援を得ながら、充実した業績を達成して意義ある記念日を迎えられるよう、努力して参ります。



◆ 指導部門

- ① 組合員への広報活動の強化を図ります。
- ② 森林ボランティアを通して森林づくりへの理解を深めると共に、木工教室等新たな取組みを行います。
- ③ 人材の確保、定着につながるイベントへの積極的な参加と、広告PRなど知名度向上に努めます。
- ④ 労働災害の未然防止のため、毎月安全衛生委員会と安全パトロールを徹底します。

◆ 販売部門

〔共販〕① 佐伯・宇目共販所の取扱量増加に努めます。

- ② 宇目工場への原木の安定供給に努めます。【宇目共販所】原木取扱量 138,000㎡ 取扱高 1,416,500千円
- 【佐伯共販所】原木取扱量 46,000㎡ 取扱高 487,000千円

〔林産〕① 宇目工場へ原木の安定供給に努めます。年間出材量 42,000㎡

② 新たな原木の安定的な流通体制の確立に努めます。

- ③ 安全作業を第一に、事故防止に努めます。
- ④ 立木買取事業による組合員サービスの向上に努めます。

◆ 加工部門

〔加工〕① 安定稼働を目指し製材品の拡販に努めます。原木消費量 110,029㎡ 加工品販売量 48,120㎡ 加工品売上高 2,068,668千円

- ② 地域材パネル工法の普及推進に努めます。
- ③ 新分野への製品需要の調査・研究を進めます。

◆ 森林整備部門

〔森林整備〕① 主伐、再造林の推進に取組みます。植栽面積 270ha、付帯施設整備事業 165,000㎡、下刈事業 1,500ha

② 森林造成対策費を活用し、事業を効率的に進めます。



- ③ 南部地域苗木生産者協議会と連携し、コンテナ苗の量産に努めます。
 - ④ 経営計画に沿った間伐事業に取り組めます。
- 〈購買〉① 苗木・林業資材の販売に努め、再造林を推進します。苗木取扱量700,000本
- ② 養苗部門の生産量アップに取組みます。コンテナ苗生産量100,000本
(協議会を含む)
- ◆ **森林整備センター部門**
- ① 年間事業量の確実な達成に努めます。素材出材量11,100m³ 造林事業140ha
 - ② 新規雇用者の確保・育成に努めます。
 - ③ 労災事故を防止し、安全作業に努めます。
- ◆ **管理部門**
- ① 規程の見直し、整備に努めます。
 - ② 所在不明組合員の調査を行い組合員台帳の整備を図ります。
 - ③ 職員の資質の向上と、コンプライアンス（法令遵守）に努めます。

林業の豆知識①

日本の有名 林業地



技術アドバイザー
津島俊治氏

世界三大美人という言葉を知っていますか。

世界史上において特に美人とされるクレオパトラ(エジプトのプトレマイオス朝女王)、楊貴妃(中国唐の皇妃)、小野小町(平安時代の歌人)の3人ですが、日本以外では知られていないようです。数年前に台湾の国立博物館を訪れた時、そこに展示されていた楊貴妃さんはムーミン似のかわいらしい女性でした。

さて、林業の世界でも同じように、日本三大美林という言葉があります。この3つとは、青森県の青森ヒバ、秋田県の秋田杉、長野県の本曾桧のことで、いずれも天然林です。

一方、人工林の日本三大美林という言い方もあり、奈良県の吉野スギ、静岡県得天竜スギ、三重県の尾鷲ヒノキの3つを言います。当然のことですが、いずれの地域も古くから林業が盛んで、

木材産業が基幹産業でした。

このほかにも、北山林業(京都府、スギ、台杉仕立)、東濃ヒノキ(岐阜県、ヒノキ、伊勢神宮用材)、久万林業(愛媛県、スギ・ヒノキ、二段林仕立)、智頭スギ(鳥取県、スギ、慶長杉)、美作ヒノキ(岡山県、ヒノキ)、八溝スギ(栃木県、スギ)、木頭スギ(徳島県、スギ)などが有名です。

九州では、飢肥スギ(宮崎県、スギ、弁甲材)、小国スギ(熊本県、スギ)、日田スギ(大分県、スギ)、屋久スギ(鹿児島県、スギ、縄文杉)などスギの林業地が多いようです。

組合員のみなさまへ こんなときは、変更手続きが必要です!

よし!
森林組合に
行こう!



- ✿ 組合員が亡くなったとき
- ✿ 住所を変更したとき
- ✿ 組合員資格を譲渡するとき
- ✿ 組合員を脱退するとき

※姓が異なる相続の場合など、続柄が確認できる書類(戸籍謄本)の提出を求める事があります。手続きを行っていない場合、組合からのお知らせが出来ないなど組合員の皆様へご迷惑をおかけする事になりますので忘れずにお問い合わせ致します。そのほか組合員加入状況の確認、配当金について等、お気軽に本所・各支所へ問合せください。



新人職員紹介 平成31年4月1日付けで採用されました

かい しおん
甲斐 汐遥



総務部の甲斐汐遥です。給与計算や伝票処理など、主に経理の仕事を行っています。一日でも早く業務の知識を身につけ、役に立てるよう精一杯がんばります！よろしくお願いします。

しおつき たいが
汐月 泰雅



森林整備課の汐月泰雅です。主な業務は経営計画の証明関係や伐採届の提出を行っています。早く業務を覚えていけるよう頑張ります。

やまと そうへい
大和 蒼平



加工流通課の大和蒼平です。毎日覚えることが多く大変ですが一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

むろはら りょうへい
室原 諒平



加工流通部の室原諒平です。10月に技術職員になりました。これからもっと頑張りたいです。

拠点一覧

名称	所在地	電話番号	FAX番号
本所	〒879-3302 佐伯市宇目大字南田原283番地2	0972-54-3326	0972-54-3328
佐伯支所	〒876-0813 佐伯市長島1-2-1(大分県佐伯総合庁舎内)	0972-22-1156	0972-22-9111
本匠支所	〒876-0213 佐伯市本匠大字堂の間1067番地1	0972-57-6003	0972-57-6081
直川支所	〒879-3101 佐伯市直川大字赤木2番地1	0972-58-2004	0972-58-2213
佐伯共販所	〒876-0822 佐伯市西浜8番25号	0972-22-4531	0972-22-0435
宇目共販所	〒879-3302 佐伯市宇目大字南田原283番地2	0972-54-3633	0972-54-3328
宇目工場	〒879-3302 佐伯市宇目大字南田原283番地2	0972-54-3930	0972-54-3022

